

1

解答解説のページへ

男性  $M_1, \dots, M_4$  の 4 人と女性  $F_1, \dots, F_4$  の 4 人が、横一列に並んだ座席  $S_1, \dots, S_8$  に座る場合を考える。

- (1) 同性どうしが隣り合わない座り方は何通りあるか。
- (2) (1)の座り方の中で、 $M_1$ の両隣りが  $F_1$  と  $F_2$  になる座り方は何通りあるか。
- (3) (1)の座り方の中で、 $M_1$  と  $F_1$  が隣り合わない座り方は何通りあるか。

2

解答解説のページへ

自然数  $m, n$  に対して, 自然数  $m \diamond n$  を次のように定める。

$\diamond$	1	2	3	4	5	...
1	4	6	8	10	12	...
2	9	13	17	21	25	...
3	16	22	28	34	40	...
4	25	33	41	49	57	...
5	36	46	56	66	76	...
...	...	...	...	...	...	...

$\diamond$	$n$
$m$	$m \diamond n$

例えば,  $1 \diamond 1 = 4$ ,  $1 \diamond 2 = 6$ ,  $2 \diamond 1 = 9$ ,  $4 \diamond 2 = 33$ ,  $5 \diamond 3 = 56$ ,  $1 \diamond 6 = 14$ ,  $6 \diamond 1 = 49$  である。

- (1) 数列  $8 \diamond 1, 8 \diamond 2, 8 \diamond 3, \dots$  の初項  $8 \diamond 1$  から第 25 項  $8 \diamond 25$  までの和を求めよ。
- (2)  $m \diamond n = 474$  を満たす自然数  $m, n$  の組をすべて求めよ。

**3**

解答解説のページへ

$a, b$  を実数とし,  $a \neq 0$  とする。  $x$  についての 3 次方程式

$$ax^3 + (a+1)x^2 + (b+1)x + b = 0 \cdots \cdots \textcircled{1}$$

を考える。

- (1)  $a = b = 1$  のとき,  $\textcircled{1}$  の実数解を求めよ。
- (2)  $\textcircled{1}$  がちょうど 2 つの相異なる実数解をもつ条件を  $a, b$  を用いて表せ。

4

解答解説のページへ

$a$  を正の実数とする。放物線  $P: y = x^2$  上の点  $A(a, a^2)$  における接線を  $l_1$  とし、点  $A$  を通り  $l_1$  と直交する直線を  $l_2$  とする。また、 $l_2$  と放物線  $P$  との交点のうち  $A$  でない方を  $B(b, b^2)$  とする。さらに、点  $B$  を通り  $l_1$  に平行な直線を  $l_3$  とし、 $l_3$  と放物線  $P$  との交点のうち  $B$  でない方を  $C(c, c^2)$  とする。

- (1)  $b+c=2a$  であることを示せ。
- (2) 放物線  $P$  と  $l_3$  で囲まれた部分の面積を  $S$  とする。 $S$  を  $a$  を用いて表し、 $S$  が最小となるときの  $S$  と  $a$  の値を求めよ。

1

問題のページへ

- (1) 男性が  $S_1, S_3, S_5, S_7$  に座る場合,  $S_2, S_4, S_6, S_8$  に座る場合があるので, 同性どうしが隣り合わない座り方は,
- $$2 \times 4! \times 4! = 1152 \quad (\text{通り})$$
- (2) まず,  $M_1$  の座席は  $S_2, S_3, S_4, S_5, S_6, S_7$  のいずれかであり, また  $F_1$  と  $F_2$  については  $F_1 M_1 F_2$  の場合と  $F_2 M_1 F_1$  の 2 つの場合がある。さらに, 残りの男性 3 人, 女性 2 人の座り方を合わせて考えると,  $M_1$  の両隣りが  $F_1$  と  $F_2$  になる座り方は,
- $$6 \times 2 \times 3! \times 2! = 144 \quad (\text{通り})$$
- (3) まず,  $M_1$  と  $F_1$  が隣り合う座り方を考える。
- (i)  $M_1$  が  $S_1$  または  $S_8$  に座るとき
- $F_1$  の座席は 1 通りに決まるので, 残り男性 3 人, 女性 3 人の座り方を考えて,
- $$2 \times 1 \times 3! \times 3! = 72 \quad (\text{通り})$$
- (ii)  $M_1$  が  $S_2, S_3, S_4, S_5, S_6, S_7$  のいずれかに座るとき
- $F_1$  の座席は 2 通りずつ決まるので, 残り男性 3 人, 女性 3 人の座り方を考えて,
- $$6 \times 2 \times 3! \times 3! = 432 \quad (\text{通り})$$
- (i)(ii)より,  $M_1$  と  $F_1$  が隣り合う座り方は,  $72 + 432 = 504$  通りとなる。
- よって,  $M_1$  と  $F_1$  が隣り合わない座り方は, (1) の結論を用いると,
- $$1152 - 504 = 648 \quad (\text{通り})$$

## [解説]

順列の基本問題です。(3)では, 図を描いて, 直接的に数えても大差はありません。

2

問題のページへ

(1) 条件より,  $m \diamond n = (m+1)^2 + 2m(n-1)$  なので,

$$8 \diamond 1 + 8 \diamond 2 + \dots + 8 \diamond 25 = \sum_{n=1}^{25} \{9^2 + 16(n-1)\} = \frac{81+465}{2} \times 25 = 6825$$

(2)  $m \diamond n = 474$  から,  $(m+1)^2 + 2m(n-1) = 474$  となり,

$$m^2 + 2mn - 473 = 0, \quad m(m+2n) = 473 \dots\dots\dots(*)$$

さて,  $473 = 11 \times 43$  より,  $(*)$  を満たす自然数  $m, n$  は,  $m < m+2n$  から,

$$(m, m+2n) = (1, 473), (11, 43)$$

よって,  $(m, n) = (1, 236), (11, 16)$

### [解説]

中学入試のような問題です。常識的な感覚で規則性を見つければよいのでしょう。

3

問題のページへ

(1) 方程式  $ax^3 + (a+1)x^2 + (b+1)x + b = 0$  ( $a \neq 0$ ) ……① に対して,  $a = b = 1$  のとき,

$$x^3 + 2x^2 + 2x + 1 = 0, (x+1)(x^2 + x + 1) = 0$$

$x^2 + x + 1 = 0$  は実数解をもたないので, ①の実数解は  $x = -1$  である。

(2) まず, ①より,  $(x+1)(ax^2 + x + b) = 0$  ……②

ここで, ②より,  $f(x) = ax^2 + x + b$  おくと, ①がちょうど 2 つの相異なる実数解をもつのは, 次の 2 つの場合がある。

(i)  $f(x) = 0$  が異なる 2 つの実数解をもち, その一方が  $x = -1$  であるとき

$$D = 1 - 4ab > 0, f(-1) = a - 1 + b = 0$$

$$\text{よって, } ab < \frac{1}{4}, a + b = 1$$

(ii)  $f(x) = 0$  が  $x \neq -1$  である重解をもつとき

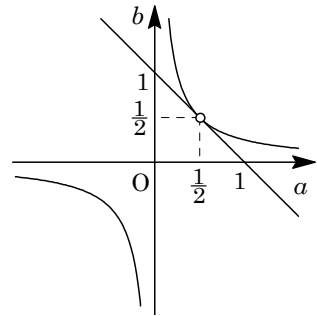
$$D = 1 - 4ab = 0, f(-1) = a - 1 + b \neq 0$$

$$\text{よって, } ab = \frac{1}{4}, a + b \neq 1$$

(i)(ii)より,  $ab$  平面上で図示すると, 右図のようになる。

よって, 求める条件は,  $a \neq 0$  を考え合わせて,

$$a + b = 1, ab = \frac{1}{4}, (a, b) \neq \left(\frac{1}{2}, \frac{1}{2}\right), (a, b) \neq (0, 1)$$



### [解説]

私大の入試によく見かける問題です。条件がやや複雑なので, まとめる際に, 図を用いています。

4

問題のページへ

(1)  $P: y = x^2 \cdots \cdots \textcircled{1}$  に対して,  $y' = 2x$  となり,

$$l_2: y - a^2 = -\frac{1}{2a}(x - a) \cdots \cdots \textcircled{2}$$

①②を連立して,  $x^2 - a^2 = -\frac{1}{2a}(x - a)$  $x \neq a$  の解は,  $x + a = -\frac{1}{2a}$ ,  $x = -a - \frac{1}{2a}$  となり,

$$b = -a - \frac{1}{2a} \cdots \cdots \textcircled{3}$$

また,  $l_3: y - b^2 = 2a(x - b)$  より,

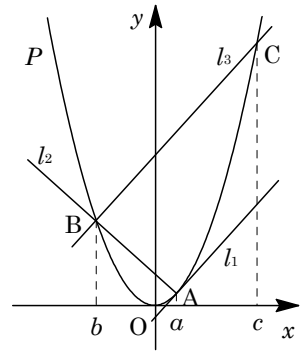
$$y = 2ax - 2ab + b^2 \cdots \cdots \textcircled{4}$$

①④を連立して,  $x^2 - 2ax + 2ab - b^2 = 0 \cdots \cdots \textcircled{5}$ ⑤の解が,  $x = b, c$  より, 解と係数の関係を用いると,  $b + c = 2a \cdots \cdots \textcircled{6}$ (2)  $P$  と  $l_3$  で囲まれた部分の面積  $S$  は, ③⑥を用いると,

$$\begin{aligned} S &= \int_b^c (2ax - 2ab + b^2 - x^2) dx = -\int_b^c (x - b)(x - c) dx = \frac{1}{6}(c - b)^3 \\ &= \frac{1}{6}(2a - b - b)^3 = \frac{4}{3}(a - b)^3 = \frac{4}{3}\left(2a + \frac{1}{2a}\right)^3 \end{aligned}$$

ここで,  $a > 0$  から, 相加平均と相乗平均の関係を用いると,

$$2a + \frac{1}{2a} \geq 2\sqrt{2a \cdot \frac{1}{2a}} = 2$$

なお, 等号は  $2a = \frac{1}{2a}$  ( $a = \frac{1}{2}$ ) のときに成立する。よって,  $a = \frac{1}{2}$  のとき,  $S$  は最小値  $\frac{4}{3} \cdot 2^3 = \frac{32}{3}$  をとる。

## [解説]

放物線と直線に囲まれた部分の面積を求める典型題です。